

2026年3月11日  
千葉大学医学部附属病院  
株式会社メドコム

## 医師の働き方に関するスマホ導入の効果検証について 千葉大学病院と株式会社メドコムが共同研究を開始

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥精司）は、当院の次世代医療構想センター（センター長：吉村健佑）と株式会社メドコム（本社：東京都江東区、代表取締役社長 兼 CEO：佐藤康行、以下メドコム）が、「医療現場のDX化に向けたスマートデバイス導入効果に係る検討」について、2月1日より共同研究を開始しましたので、ご報告します。

近年、医師の働き方改革を機に、医療現場では労務管理の厳格化が課題となっていますが、一方で、地域医療を支える医療機関における人材不足や業務負担の増加が深刻化しており、ICTやデジタル技術を活用した業務改革が急務となっています。そこで、本共同研究では、医療現場にスマートデバイスを導入し、具体的な効果を定量・定性の両面から検証することにより、実効性の高いDXモデルの確立を目指します。

### 【研究方法】（研究期間：2026年2月1日～2028年3月31日）

- ・千葉県内の特定医療機関において、医療機関専用スマートデバイスおよびスマートフォンアプリを導入し、医療従事者の業務環境を整備する
- ・医師・看護師等の勤務時間、時間外労働、業務中断頻度等を指標とし、導入前後の変化を定量的に分析する
- ・医師・看護師間の連絡手段、情報共有の迅速性、業務フローの変化について、アンケート調査およびヒアリングを通じて定性評価を行う
- ・地域医療体制確保加算の算定状況を分析し、業務効率化が地域医療提供体制の維持・確保に与える影響を検討する

### 【期待される効果】

本研究を通じて得られる知見をもとに、医療現場におけるスマートデバイス活用の有効性を明らかにするとともに、全国の医療機関に展開可能なDX推進モデルの構築を目指します。

センター長  
吉村 健佑

#### 【次世代医療構想センターについて】

次世代医療構想センターは、地域医療構想や医師の働き方改革など、医療現場を取り巻く大きな課題に対して、データに基づいた検証を行いながら解決策を探る研究を進めています。本共同研究では、スマートデバイスの活用が医療現場にもたらす効果を数字で確かめ、現場をより働きやすく、より良い医療につなげることを目指します。

代表取締役社長 兼 CEO  
佐藤 康行

#### 【株式会社メドコムについて】

メドコムは、医療現場の働き方改革を推進するアプリケーションの開発・提供を行っています。スマートフォンサービス「メドコム」は、ナースコールや電子カルテ連携など医療現場に必要な機能を標準搭載するとともに、閉域ネットワーク上での動作により高いセキュリティレベルで利用できる環境を実現しており、PHSに代わるデジタル化推進ツールとして病院のDXを支援しています。

#### <取材申し込み・お問い合わせ先>

・千葉大学医学部附属病院 病院広報室 数馬・松浦・室田 ・株式会社メドコム 広報担当 大野  
Tel：043-226-2225 E-mail：byoin-koho@chiba-u.jp Tel：03-6268-9071 E-mail：press@medcom.ne.jp